

表6. 乳幼児の家族からの相談例

- Q 福島市在住で3才の娘がいる、福島市の大気放射線量が $2\mu\text{Sv/h}$ だが住み続けてもよいか
- Q 福島県大玉村の6か月乳児の母親、福島の野菜、牛乳、肉、魚介類は放射線汚染のため離乳食に使えないのか、何を食すればよいか不安
- Q 千葉市に住む3歳と6歳児の母親、戸外で遊ばせてよいか、砂場で遊ぶことや土埃の多い日は心配で屋内退避同然の生活を送っているが母子ともにストレスが貯まっている
- Q 横浜市在住の5歳と小学1年生児童の母親、最近福島県産の牛肉から基準値を遥かに超える放射性セシウムが検出され、すでに市場に出回ったものもあるという、すでに食べた可能性もあり心配である
- Q 福島県葛尾村在住、3歳と7歳の子がいる、事故後1年間の積算線量推定値は $10\text{-}15\text{mSv}$ という、子どもたちが将来がんになるリスクはどの程度なのか